

## 東陽テクニカの packets キャプチャ/解析システム「Synesis」に、 Napatech 社の 100GbE SmartNIC が採用

**デンマーク、コペンハーゲン発 - 2017 年 12 月 7 日 -** 再構成可能コンピューティングのソリューションプロバイダである Napatech A/S (本社：デンマーク、CEO：Henrik Brill Jensen、以下「Napatech」)は、本日、株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝、以下「東陽テクニカ」）の自社開発製品である packets キャプチャ/解析システム「Synesis」に Napatech の FPGA SmartNIC とソフトウェアが採用されることを発表しました。「Synesis」は、100G ビットまでのイーサネット回線を取りこぼしなく packets キャプチャ、およびリプレイすることができる解析システムです。

ネットワーク事業者が、クラウド、5G モバイル、IoT サービスで求められるハイパースケールな性能要件を考慮してネットワークインフラを 100G へ迅速にアップグレードする中、packets キャプチャ「Synesis」100G 対応モデルおよびその搭載機能“PacketRepalyer”は最適なソリューションになります。このソリューションは、テレコムおよびデータセンターのオペレータに、packets ロスなしで全てのトラフィックをキャプチャすると共に、取得したトラフィックを再生する機能を提供します。Napatech の SmartNIC が、ナノ秒精度のタイムスタンプ機能をサポートすることで、キャプチャされたときと同じフレーム間ギャップとタイミングで packets を正確に再生することが可能になりました。

### 100G トラフィックキャプチャ、リプレイのメリット：

- 100G での性能測定：ユーザは IP トラフィックをキャプチャして再生することで、100G までのネットワーク速度でエンドツーエンドの性能とサービス品質を測定することができます。
- 迅速でコスト効率の高いテスト：Napatech の SmartNIC の高精度タイムスタンプ機能により、実トラフィックによる大規模なテスト環境を、迅速かつコスト効率よく構築することができます。さらに、Napatech の SmartNIC は、標準規格に準拠しているのでカスタムハードウェアを用いるよりも大幅にコスト削減を実現します。
- 強固なネットワークインフラ：最悪のシナリオに基づいて設定された様々なトラフィック条件をシミュレーションおよび再生することで、ネットワークインフラをより強固にすることができます。

### 東陽テクニカ、齊藤 美之 様 談：

「100G のリプレイは、今後のトラブルシューティングの鍵となると考えています。信頼性の高い 100G 以上のソリューションを提供することは常に課題ですが、信頼できるパートナーである Napatech との継続的な協力により、この課題を克服して革新を続けることができるでしょう。」

### Napatech, Chief Sales Officer, Ken Way 談：

「東陽テクニカ様は、多くの日本のテクノロジー企業の中でも有数のリーディングカンパニーです。Synesis は、最先端のデータセンターやモバイルネットワークを構築しているネットワークエンジニアが求めているツールです。当社の FPGA ベースの SmartNIC やソフトウェアが、世界で最も洗練されたネットワーク向けの最新テスト、計測ソリューションに役立っていることを大変嬉しく思います。」

## Napatech について

Napatech は、あらゆる規模の IT 組織にハイパースケールのコンピューティングの利点をもたらすことで、ビジネスの再創造を支援します。私たちはオープンで標準化された仮想サーバを強化することで、革新を促進し、サービス向上により収益をもたらす貴重なコンピューティングリソースを提供します。当社の再構成可能コンピューティング・プラットフォームは、最先端の IT コンピューティング、ネットワーク、およびセキュリティアプリケーション向けに、幅広い FPGA ソフトウェアとハードウェア群から構成されます。詳細については Napatech Web サイト : <http://www.napatech.com/jp> をご覧ください。

## 東陽テクニカについて

株式会社東陽テクニカは、昭和 28 年の設立より「技術と情報」をキーワードに日本の技術発展に寄与することを使命として、主として最先端の「測るツール」を欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の研究・開発者に提供しています。さらに、「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー、トレーニングなどの取組みは、400 名を超える全従業員の 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。詳細については東陽テクニカ Web サイト : <http://www.toyo.co.jp/> をご覧ください。

## 将来の見通しに関する記述について

このプレスリリースには将来の見通しに関する記述が含まれている場合があります。このような将来の見通しに関する記述は予測に過ぎず、以下を含むがこれに限定されない様々な要因に影響を受けるものであり、現実には生じる実際の出来事または結果とは異なる場合があります。影響を与える要因には、ビジネス状況、業界と市場のトレンド、世界経済と多様な地域の状況、マクロ経済要因、Napatech のレポートで報告されているその他のリスクと不確実性などが含まれます。このリリースに記載された将来の見通しに関する記述は、現在 Napatech が入手可能な限定された情報に基づいたものであり、変更される可能性があります。また、Napatech が情報を更新するとは限りません。

Napatech の詳細については、Web サイト (<http://www.napatech.com/jp>) をご覧いただくか、以下にお問い合わせください。

### 投資家リレーション

Christina Bastius Thomsen  
+45 2363 8844  
[cbt@napatech.com](mailto:cbt@napatech.com)

### ナパテックジャパン株式会社

日本カントリーマネジャー  
大岩 直樹  
03 5326 3374  
[no@napatech.com](mailto:no@napatech.com)